

NFつうしん

第3号

6月28日印刷

6月29日発行

もう夏ですよ、起きなさい。

梅雨に入っているのに、おてんとさんはこのことを知っているのでしょうか。

暑くなつてしまりましたが、みなさま如何お過ごしてでしょうか。事務局です。

向事もなく一日が過ぎて行き、また1日が暮れて行く。あなたはこんな毎日に満足していますか。もうすぐ夏休みです。何か刺激が欲しいとは思いませんか。

映画作りに夏休みを丸々費した日は、もう遠い

昔。戻っては来ないのだろうか。いや、そんな筈はない。まだ時尚はたっぷり残されています。新しい恋愛を求めて、さあ動げよう。奈落の底へ

ア月の風が頬を煽いで行く。おひさんが呼んでいる。ぼくらの季節だ。

夏の日差しが擦々と輝いています。もう昼ですよ、起きなさい。

AちゃんとBちゃんの会話

——オ2回おまつりひろば単位実行委員会開催のお知らせ——

A: 6月30日に何があるか知ってる?

B: いや、

A: おまつりひろば単位実行委員会、このあるんだ。

B: うーん

A: A111で4:15からやるんだけどね、

B: で?

A: 一緒に行ってみない?

B: 何をやるの?

A: うん、その日は23日の11月祭の音楽映画を見たり、11月祭で何をやろうか、なんてこと話をしたりするんだけどね……

B: 面倒くさいよ。

A: でもね、面白いんだよ、吉田GにSTAGEを組んで、そこでいろいろな企画を演出したり……例えば去年だったら、京大プロレスをやったり、紅白歌合戦をやったり、Mr.京大を選んだり、自分の好きなことができるんだから……

B: うーん、でもね、そういう所にはいったらしないんじゃないの?

A: いや、この“おまつり単位実行委員会”ってのは、おまつりひろばのステージを企画するだけだから、何もむづかしいことはないんだ。

B: けど、ステージを演出するの大変なんだろう?

A: いや、アイデアをだしてもらえば、そこまでいいんだって……

B: うん……

A: まあ、ともかく、いらっしゃるでない? “冷やかしも大歓迎”って立て看板に書いてあるじゃない。おもしろくなかったら出でくればいいんだから……

B: そうだなあ。

A: よし、決った。いつみよろせ!! という会話が巷では流行してあります。みなさん、流行に遅れないように、6月30日の放課後はAの111へ来てくださいませ。

おまたせしました

NFつうしんオ3号

パワーアップして登場!

対談：事ム局って何た？

対談者 A：工学部2回生 井上知之

J：11月祭事ム局員

A：11月祭事ム局ってゆうのは、名前はよく耳にするんですが、いったい何をやっているところなんでしょうか。

J：そうですね、いろんなことをやっているんですけど、ひと言で言えば、11月祭に備する運営事務一般ということになるでしょうか。

A：具体的には？

J：11月祭に参加する企画の企画申請書を受けつけたり整理したりする窓口になったり、企画参加する団体への援助を渡したり、物品を安く仕入れて企画に貯したり、また、11月祭の資金になる広告取りに行ったり、パンフレットを作ったり、そういう事ム的な面と、吉田グランドに設けるステージの進行をしたり、記念の多い法聖館の管理などの運営的な面と、そして、本部映画・本部演説・フリーコンサートなどの企画をうつ、イベント的な面があります。事ム局という名前から想像されるよりはかなり幅広く活動してます。

A：11月祭全学実行委員会とか、教養部実行委員会とかいうのがあります、それらと事ム局とはどういう関係にあるのですか？

J：決定権を持つのは実行委員会のみであり、事ム局は実行委員会での一致見に基づいて事ム処理等の面を進めて行きます。細々したことは実行委員会の代行として事ム局に決定権がゆだねられています。とは言っても事ム局がすることは、各企画団体の希望に沿うように便宜を図ることであって、企

画を差別して制限することでは決してありません。全学実行委員会の規約では、すべての企画団体が平等に11月祭に参加できることが保障されています。

A：実行委員会には誰でも参加できるのですか？

J：はい、誰でも参加できます。しかし、たとえ自販といえども一企画団体としてしか参加できません。実行委員会では11月祭の学生部予算・教養部予算増額の支認とか、使用場所に備する支認などがあげられます。が、11月祭に關係ない支認はことごとく承認されないようです。

A：ところで、事ム局員は何人いるのですか？

J：実際に働いているのは1回生から3回生まで24人、OBが20人います。

A：どういうことで入ってくるんですか？

J：お祭り好きの人向かっては友を呼ぶという感じでなんとなく寄り集まってるのです。事ム局員は「11月祭を成功させる」というひとつの目的で固く結束されています。ときどき誤解されることがあるようですが、事ム局員がお金をもらっているとか、11月祭で金儲けしているとか思っておられる方がおられるようですが、そういうことは一切ありません。だからこそ純粋に11月祭の成功を望み、事ム局員相互の強い信頼感が生まれるのであります。……

(紙面の都合上ここらへんで割愛させていた)
だきます。

NFつうしん編集員募集
11月祭事ム局内情宣局では、情宣局員を募集致しております。NFつうしんの編集その他兼しい仕事がたくさん待っております。

毎日がお祭り騒ぎ
幅広い人材を求めていきます。

11月祭事ム局

第3回11月祭教養部実行委員会開催のお知らせ

毎度吉田生協会館前をお騒がせいたしておりま
す。お馴じみの11月祭教養部実行委員会でござ
います。クラス・サークル等でご不用になりました
した代表者がございましたら、お気軽に声をあ
かけくださいませ。ただちに回収に参ります。
——これからがほんとうのお知らせ——下記の
通り第3回11月祭教養部実行委員会を開催致し
ます。クラス・サークル・ゼミ・有志等の代表

日時：7月2日(金) 4時15分～

場所：A112 教室にて

連載エッセイ「虫の中」

鍵穴のように、黒く、ペシャンコた。——ルナール「博物誌」

虫の中で、何がいちばんきらいかと聞かれて、
“ゴキブリ”と答える人は少なくない。なぜこんなにも嫌われるのであろうか。それは、ゴキブリが居すぎるからにちがいない。こんなにたくさんいなければ、生きている化石として天然記念物に指定されているであろうに。しかしながら、考えてみるといちばんなんじみの虫ではないのか。〇〇〇して△△△して×××しようとして彼女を自分の下宿へつれて帰ったのはいいけれど、ゴキブリが出てきて大騒ぎ。彼女には逃げられるし、大家には文句をいわれるし……。こんな話もわらいとはしまえないのがわれわれの現状ではないだろうか。

それはさておき、イギリスのあるホテルでの

者の方は必ず出席してください。

クラスでの話し合いは進んでおられるでしょう
か。今の時期に話し合いを重ねておかないと、
夏休みに入ってしまってはとり返しのつかない
ことになります。第3回の教養部実行委
員会までに十分な討議を重ねて委員会に臨まれ
るよう切望致します。

お詫。数年前の夏、ロンドンのあるホテルのホー
ルで盛大なパーティーがもよよされた。部屋
も食事もなにもかもが一統でなにもいうことは
ないのだが、ときどきホールの中をゴキブリが
うろちょろする。みかねた主催者がホテルの支
配人に文句をつけた。ホテルの支配人はすまし
て答えた。「失禮ですが閣下、当ホテルのゴキ
ブリは毎朝歯をみがき、クレジール石けんで手
を洗い、白衣をきています。」

百万遍のある“れすとらん”で、目につくところにゴキブリホイホイがおいてあったのでぞ
いたら、チャバネゴキブリがワイワイとはいっ
ていた。あのチャバネゴキブリもちゃんとクレ
ジール石けんで手を洗っているのだろうか。

NFつうしん夏休み特大号によせて

みなさま、梅雨の古い間の空の中、ごきげんい
かがでしょうか。NFつうしん編集部です。あ
かげさまでNFつうしんも多くの困難にもめげ
ず、第3号と相成りました。第3号は夏休みへ
向けての(?) 大増ページとなり、難波の書翰
エッセイも加わり、読みごたえのあるものにな
りました。これも、ひとえに、読者のみなさま
の廻心と期待が大きいおかげでございまして、

わたくし編集長も読者の方々にはばまされ、ク
ラスの代役に助けられ、事務局員にあたてられ
ながら作業を続けてあります。まだ、第4号の
発売日は決まっておりませんが、NFつうしん
の方、第4号からもひきつづきおひきさて、御
遠慮ください様よろしくお願ひ申し上げます。

11月祭テーマの募集

歳月は、流れ流れて20と4年。11月祭も、そろそろお肌の曲り角。この時期のお肌対策はよく食べ、よく眠り、よく出すことです。つまり、新陳代謝が肌の寿命を左右すること。11月祭も長もちさせるためには毎回のリフレッシュが必要ですね。「マンネリズムと言われるのも苦労する」なんてあっしゃった人也有たけれど、前回と同じことやつてるようじゃあ学園祭の寿命も10年は縮まるってもの。そんなわけで、今回の11月祭には今までと違った自分を見し、表現してみません! 「今、何を考えてるのか」「何が言いたいのか」とか「11月祭って何だ」「青春は爆発だ」とか、とにかく心の

底から湧き出てくるイメージをこころににして、自分たちの11月祭を飾ってみて貢献。

公募対象：11月祭参加の意志を有する全京大生

公募期間：6月29日～9月14日

心に浮かんだイメージはさめないうちにノートにメモって11月祭事務局まで御持参下さい。また、テーマ案に趣旨文等を少々加えていただけると、より説得力のあるものになると思われます。なお、みなさんから集められたテーマ案は、次に募集しますテーマ単位実行委員会の手を借りて公選されます。公選方法・公選期間は後日立て看等でお知らせします。

嵯峨野紀行(4)「私の嫌いな嵐山」の巻

5月のある日、嵐山へ出かけた。桂駅で嵐山線に乗り換えると、電車はすいていて、中年のおばさんがポツポツいるくらいである。日曜日なら、嵐山へ行く家族づれやアベックなどで満員だろう。

半年程前のある日曜日、高槻市駅から急行に乗ったら「私たちはこれから嵐山へ行きます」というのがひと目でわかるアベックがすわっていた。何故ひと目でわかるかというと、嵐山へ行くアベックというはある類型にすっぽりはまっているのである。その類型というのは、まずオーネ、男女ともに決して美型ではないということである。何故なのかは知らないけれども、このことは実際に見てみると事実が証明して

くれる。オニには、そのカッフルができる、まだ日が浅いということである。どうやって見るかというと、アベックがわりとまれりの人たちを夷にしながら行動するのである。急行に乗っていたアベックは、バスケットに入れたお弁とう——どうせサンドイッチくらいだろうが、一の話などをしているようだった。それから、いろいろ夷にはしているのだろうが、さっぱりさまになっていないということなどがあがらる。予想通り、急行に乗っていたアベックは桂で降りて、車掌に嵐山行きの電車が御番ホームから出るかをよく通る声で聞いていた。

そんなことを考えているうちに、私の乗っていた電車は嵐山駅に着いた。
(つづく)

事務局員のひとりごと

つぶつぶオレンジのような雨の日も、ヘリコプターのような風の日も、アイスクリームのような日曜日も、ページワンのような土曜の夜も、ひたすら、原稿用紙とマスター、ペーパーを折り鶴を作り、紙ひこうきを飛ばしながら阪神の優勝を祈っている今日この頃です。私は今日から

夏休み、教養部に通っている学生を横目で見ながら山奥へ鳥の声を聞きに行ってきた。みなさきに山奥の鳥の声を届けたいのですが、不可能なのでおしからず。

11月祭事務局